

■ 事業概要（総括）

令和2年の新型コロナウイルス感染症の拡大は、観光産業に大きな影響を及ぼし、訪日・国内観光客の減少、MICE開催の中止や延期が相次ぎました。

このような状況の中、令和2年度は、新潟市新しい観光スタイル推進協議会に参画し、コロナ禍での観光スタイルの構築と誘客に取り組みました。

また、MICEにおいては、新型コロナウイルス感染症に対応したMICE開催支援策を新たに設け、MICE開催の回復に努めました。

令和2年度に取り組んだ三つの柱

1. 「食と花と酒」「みなとまち文化」「豪農文化」を活かした観光コンテンツの充実

関係機関と連携し地域資源を活用した観光コンテンツの充実を図り、観光資源を生かした着地型旅行商品や、古町芸妓を活用した団体および個人向け商品を企画・実施しました。

また、安心・安全な新しい観光スタイルの普及・定着を図り、マイクロツーリズムを推進するとともに、当面の観光需要の回復を担う国内旅行の需要喚起に取り組みました。

2. 都市の拠点性を活かした広域的な連携による国内外からの誘客

国内においては、関係機関と連携し、首都圏および定期航空路就航地の旅行会社等へ、コロナ禍での観光情報や支援策を提供し、各地からの誘客促進を図りました。

国外においては、他地域と連携した広域観光ルートの構築を継続し、本格的なインバウンド回復に備えた取り組みを進めました。

3. コンベンション関係機関やMICE支援策を活用した「MICE」誘致の推進

新型コロナウイルス感染症に対応したMICE支援策を新たに設け、主催者の負担軽減と参加者の消費促進を図り、MICE開催の促進に取り組みました。

また、新潟市文化・スポーツコミッションと連携し、東京2020オリンピック・パラリンピックの事前合宿準備や、文化・スポーツイベントの誘致活動を実施しました。

公益目的事業

I 観光事業

79,583,485円

1. 観光PR事業

(1) 情報発信事業

8,457,980円

新潟市観光情報サイト「Welcome to Niigata City」の日本語版、及び外国語版（5言語6表記：英語、中国語（繁体・簡体）、韓国語、ロシア語、フランス語）をリニューアルし、新しいサイト「旅のしおり／Niigata City official Travel Guide」へ更新するとともに、新たにPR動画を作成し、サイトトップページにて公開した。

- ・訪問数：605,506（前年度 752,000）
- ・ページビュー数：958,777（前年度 1,247,406）

新潟市の観光に関する画像データをサイトで公開し、新潟へのツアーを造成する旅行会社や各種メディア、印刷会社等に無料で貸し出すとともに、新潟市を広くアピールした。

- ・フォトライブラリー貸出件数：544件（前年度 690件）
- ・インスタグラムフォロワー数：1,815名（前年度 1,393名）

(2) 広告展開事業

953,650円

新潟市の観光の魅力を発信し、県内外からの誘客を促進するため、マスメディアへの広告出稿を行った。また、新潟の魅力を対外的にアピールするため、セールス等で配布するプロモーションツールを作成した。

<広告関連>

- ・月刊にいがた別冊「新潟観光いいところ」
- ・昭文社まっぷる「新潟・佐渡 2021-2022」

<プロモーションツール>

- ・新潟柳都古町芸妓2021年版カレンダー 230本

(3) にいがた観光親善大使派遣事業

2,515,402円

日本開港五都市交流をはじめ、県内外での観光キャンペーンや新潟市で開催されるコンベンション等で新潟市の観光PRを行うため、第11代にいがた観光親善大使3名を選出した。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響によりイベント等の中止が相次ぎ、派遣件数が大幅に減少した。

<選出事業>

- ・応募者数：39人（男性：0人 女性：39人）（前年度 52人）
- ・予選会 実施日：令和2年8月8日（土）
会 場：ホテルグローバルビュー新潟
- ・本選会 実施日：令和2年8月21日（金）
会 場：ホテルイタリア軒

<派遣事業>

- ・件 数：20件（前年度 72件）

(4) 日本開港五都市観光交流事業

0円

日本開港五都市（函館・横浜・神戸・長崎・新潟）観光協議会に参加し連携を深めた。また、例年実施している各都市のまつりにおける親善大使の相互派遣は、新型コロナウイルスの影響によりすべて中止となった。

<日本開港五都市観光協議会>

オンラインにて担当者会議を実施

- ・実施日：令和3年2月1日（月）

<開港都市みなとまつりへの親善大使相互派遣>

- ・新型コロナウイルスの影響により開催中止

<新潟まつり>

- ・新型コロナウイルスの影響により開催中止

2. 観光誘客事業

(1) 食と花の交流プログラム推進事業

2,996,744円

日本海側初となるオーブントップバス「宙バス」を利用した郊外型循環バスの着地型商品を企画し、既存の「新潟市観光循環バス」では巡れない観光スポットをカバーすると共に新潟の食・花・酒とみなとまちの歴史文化を生かした誘客推進を図った。

<宙バス運行実績>

- ・運 行 月：7月～11月
- ・運行本数：25本
- ・乗車人数：592人（市内407人、県内129人、県外56人）

(2) みなとまち新潟観光推進事業

6,883,296円

新潟古町芸妓を観光資源と捉え、従来からの団体向け着地型プラン「新潟古町芸妓の舞鑑賞」、及び個人向け鑑賞プラン「新潟花街茶屋」に加え、新たに料亭・割烹での昼食と古町芸妓の舞鑑賞を組み合わせた「ランチ付新潟花街茶屋」に取り組み、各プランの企画販売を行った。

<古町芸妓の舞鑑賞・新潟花街茶屋 参加状況>

年度	古町芸妓の舞（団体）				花街茶屋（個人）				
	参加者数	実施回数	国内	海外	参加者数	実施回数	市内	市外	海外
H30年度	1,083人	59回	54.2%	45.8%	481人	19回	57.0%	33.6%	9.4%
R01年度	1,804人	80回	60.0%	40.0%	561人	23回	32.4%	50.8%	16.8%
R02年度	109人	2回	100%	0%	1,067人 (985人)	41回 (34回)	80.3% (80.0%)	19.7% (20.0%)	0%

() 内はランチ付き花街茶屋

(3) 古町芸妓を活用した旅行商品造成事業

2,066,470円

国内外の観光誘客の促進、観光コンテンツとしての新潟古町芸妓の活用拡大、ナイトタイムエコノミーの醸成等を目的に、料亭等で新潟古町芸妓の舞と食事をセットにした旅行商品を造成した旅行会社に対し、催行実績に応じ助成金を交付した。

- ・申請件数：98件
- ・助成（催行）件数：59件
- ・送客人数：1,515人

(4) 国内プロモーション・セールス事業

529,106円

観光誘客を目的として首都圏等の旅行会社に「古町芸妓の舞」鑑賞をはじめ、新潟市の体験プログラムをPRした。また、アフターDCに向け新潟・阿賀エリア（新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町）で連携した誘客強化を目的として互いの観光コンテンツ研修及び検証会議を実施した。

- ・首都圏商談会（オンライン）：2回 他、
- ・ツーリズムEXPOジャパン商談会（オンライン）：1回
- ・エリアミーティング（研修会を含む）：5回

(5) 国内航空路集客事業

9,120,375円

新潟空港と定期路線で結ばれている国内5都市からの誘客を図るため、例年は助成金制度を活用しながら各地域の旅行会社へのセールス活動を行っていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により訪問ができなかった為、メールや電話によるセールス活動を中心に実施した。

<旅行会社招請>

- ・ 阪急交通社福岡支店 2名

<空路誘客施策実施結果>

航空旅行商品新潟市宿泊報奨金

R02年度 (通年)	R01年度 (4~6月、12~2月)	対前年度比	
		増減	比率
1,343 人泊	5,138 人泊	△3,795 人泊	26.1 %

(参考) 新潟空港利用状況

	R02年度		対前年度比	
	利用者数 (人)	利用率 (%)	増減 (人)	比率 (%)
札幌線	53,169	35.3	△106,181	33.4
成田線	57	4.8	△34,633	0.2
名古屋線	28,120	34.9	△76,823	26.8
大阪線	161,341	45.2	△399,669	28.8
福岡線	49,479	34.8	△65,485	43.0
沖縄線	713	12.6	△36,563	1.9
臨時・チャーター	3,054	61.2	△2,935	51.0
合計	295,933	39.9	△722,289	29.1

<新潟・佐渡旅行商品奨励金>

国内定期路線を利用し、新潟市または佐渡市に宿泊する旅行商品に対し、広告宣伝費、パンフレット印刷費等の助成を行い旅行会社の商品造成促進を図った。

- ・ 令和2年度 7件：1,003,562円
(前年度 7件：1,173,690円)

(6) 訪日外国人集客事業

872,311円

例年、国のビジット・ジャパン事業や新潟県国際観光テーマ地区推進協議会事業、新潟市の誘客事業等との連携、さらには当協会と市内宿泊施設との協働誘客活動として、海外の旅行会社に新潟の拠点性や観光情報を提供し、旅行商品の企画造成を促進させるなど、外国人観光客入込客数、宿泊者の拡大を図っていたが、令和2年度はコロナ禍の影響により殆どの事業が実施できなかった。

<海外旅行会社招請事業>

- ・ 1回

※みなかみ町観光協会・佐渡観光交流機構と連携し、オーストラリアを扱う在日ランド

オペレーターを招請し誘客推進を図った。

(参考) 外国人延べ宿泊者数

年	R02年 (人)	R01年 (人)	対前年比 (人・%)	
新潟市	18,257	92,428	△74,171	△80.2
新潟県	201,380	480,470	△279,090	△58.1

(参考) 新潟空港国際線利用状況

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、令和2年3月以降すべての定期路線が運休しており、国際線の利用者数は0となった。

<団体貸切バス一部補助事業・スキーバス運行補助事業>

新潟市に宿泊し県内外の観光地を結ぶ周遊貸切バスの経費の一部補助と新潟空港からのスキーバスの運営体制の整備、経費の一部助成を行い韓国・台湾からの誘客増進を図ったが海外からの航空機が全て運休となった為、実績がなかった。

(7) 旅行商品造成報奨金交付事業

0円

外国人観光客の新潟市内宿泊誘致促進のため、新潟県国際観光テーマ地区推進協議会の報奨金制度(中国・台湾・韓国・ロシアの4ヶ国対象)への上乗せ及び、左記の4カ国以外には新潟市単独で、それぞれ旅行商品造成報奨金(1,000円)の交付を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により交付実績がなかった。

(8) 新しい観光スタイル推進事業

2,307,020円

新しい生活様式に則した旅行商品の造成と新潟市への誘客促進を図るため、旅行商品を造成するうえで新型コロナウイルス感染症対策を目的とした貸切バスの台数増加に伴う費用に対して「旅行商品感染症対策事業助成金」を交付した。

- ・助成額：対策前の費用と対策後の台数増加に伴う費用の差額
- ・上限額：1出発日につき25万円(1社につき年度内100万円)
- ・申請件数：13件(送客数680名)

(9) 光の演出を活用したナイトタイムエコノミーコンテンツ造成事業

20,022,964円

新潟市歴史博物館みなとびあ芝生広場で日本海側では初となるクリスマスマーケットを開催し、冬季の観光誘客と夜ならではの消費活動や魅力を創出した。

<NIIGATA CHRISTMAS MARKET 2020>

- ・開催日：令和2年12月18日(金)～12月25日(金)
- ・会場：新潟市歴史博物館 みなとびあ 芝生広場
- ・来場者数：6,165人

3. 観光客受入環境整備事業

(1) 新潟駅観光案内所等管理・運営

17,534,276円

JNTO認定カテゴリー2の観光案内所として、国内外のお客様に新潟市および広域エリアの観光情報を提供した。また、観光案内の充実や職員のスキルアップを目的とした新潟市内及び県内各地の視察・研修を行い、来訪者の受入れ態勢整備を図った。

<新潟駅万代口観光案内センター 案内実績>

	案内人数	対前年度比	
窓口	26,898人	△44,222人	37.8%
うち外国人	382人	△4,307人	8.1%
電話問い合わせ	568人	+118人	126.2%

<外国人案内実績>

国籍	案内人数	対前年度比	
1. アメリカ	58人	△488人	10.6%
2. 中国	42人	△400人	9.5%
3. インド	27人	△40人	40.3%
4. フィリピン	23人	△57人	28.8%
5. 台湾	17人	△853人	2.0%
5. イギリス	17人	△44人	27.9%
5. フランス	17人	△147人	10.4%
8. インドネシア	14人	△59人	19.2%
9. ミャンマー	12人	△12人	50.0%
10. ロシア	10人	△65人	13.3%
10. 韓国	10人	△189人	5.0%
その他30カ国	135人	△1,953人	6.5%
合計	382人	△4,307人	8.1%

<視察・研修>

- ・新潟市内、長岡市、湯沢町、JNTO認定案内所全国研修会（オンライン）

<手ぶら観光サービス>

- ・受付数 20個（前年度 67個）

(2) 地域内連携推進事業

225,300円

賛助会員及びコンベンション主催者などに、新潟市及び周辺地域の観光とコンベンションに関する情報の提供と、協会の活動状況などを広報するための機関誌「来夢来都」を年2回発行した。

- ・発行：年2回（令和2年4月、令和3年3月）
- ・部数：4,000部（2,000部×2回）

(3) 地域魅力発見事業

938,132円

第69回新潟市観光写真コンクールを実施し、新潟市の観光振興に広く活用できる写真の募集・選出を行った。新潟市の新たな魅力発見へと繋げるため、昨年度より募集テーマを設けて募集することで、参加者層の拡大を図った。併せて入賞作品展を開催し、新潟市の観光魅力の周知を行った。

<コンクール概要>

- ・応募人数：178人（一般部門 66人・WEB部門112人）
- ・応募点数：383点（一般部門 152点・WEB部門231点）
- ・入賞作品数：27点

<入賞作品展>

- ・展示期間：令和3年4月29日（木）～5月30日（日）
- ・展示会場：新潟ふるさと村、新潟・古町まちみなど情報館

(4) 観光ガイドブック発行支援

0円

新潟市中心部の飲食店等を掲載した新潟シティ・グルメガイドブック「ようきなった」の作成に協力し、必要部数を買取るとともに、コンベンション参加者や市内ホテル、関係各所へ配布するものだが、掲載店（広告出稿）減少による発行延期により令和2年度の予算執行はなかった。

(5) にいがた観光タクシー利用促進事業

55,002円

観光客に対するタクシーのサービス内容の向上を目的として、万代タクシー(株)、都タクシー(株)、第一タクシー(株)、三和第一交通(株)の4社とで協議会を組織し、利用者アンケートの実施、にいがた観光タクシーの広報等を行った。

(6) 観光客おもてなし態勢整備事業

3,537,600円

新潟空港を利用する旅行者に対し、新潟市のプロモーションやおもてなし感の醸成、利便性の向上を図ることを目的に、新潟空港内に大型LEDビジョンを設置し、観光促進に繋がる映像を放映した。

<西堀大型バス駐車場 管理・運営>

- ・利用台数 196台 (前年度 606台)

<誘客イベント支援>

- ・食と花の世界フォーラム新潟
- ・にいがた総おどり
- ・にいがた春咲フェスタ
- ・新米新酒えちご美酒ヌーヴォー
- ・応援しよう、ノイズム その創造力と身体表現に浸る

Ⅱ コンベンション事業

30,176,525円

1. コンベンション誘致事業

(1) コンベンションセールス事業

657,361円

<セールス>

新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏の主催団体本部および市内の大学等への訪問が制限されたため、新型コロナウイルス感染症に対応したMICE支援策「新しいMICE誘致推進事業」をホームページで告知するとともに、市内大学機関の教授・准教授等を中心にDMを送付し、コンベンション開催環境をPRするとともに、学会・大会・企業ミーティング開催情報の収集を行った。

<地方都市コンベンション関連団体加盟合同誘致セールス>

(新潟、松本、びわこ、和歌山、高松、長崎)

- ・オンライン会議の開催(3回)
- ・学会、大会事務局1,192団体へのアンケート調査の実施

<国際MICEエキスポ2021出展>

オンラインで開催されたコンベンション主催者との商談会「国際MICEエキスポ2021」に、朱鷺メッセとともに参加し国際会議観光都市・新潟のコンベンション開催環境をPRするとともに、コンベンションの誘致に努めた。

- ・期 日：令和3年2月24日(水)～2月26日(金)
- ・商 談：9件
- ・主 催：日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー、日本政府観光局

<企業ミーティング誘致・海外インセンティブツアー誘致>

新型コロナウイルス感染症の影響により事業実施なし

2. コンベンション開催支援事業

(1) コンベンション開催補助金交付事業

3,545,000円

都市間のコンベンション誘致競争が激化する中で、補助金制度を効果的に活用しながら積極的な誘致活動を展開したが、新型コロナウイルス感染拡大により中止となるコンベンションも多く、前年度実績を大きく下回る開催件数となった。

<コンベンション開催実績>

	国内	国際	合計	対前年度比	
開催件数	18件	0件	18件	△164件	9.9%
参加人数	9,152人	0人	9,152人	△82,061人	10.0%

※スポーツ大会・競技会・コンクール等を含む

<コンベンション補助金交付実績>

	補助金交付	対前年度比	
申請件数	73件	△23件	84.9%
交付件数	7件	△57件	10.9%
交付額	3,545,000円	△25,227,039円	12.3%

※申請73件中、新型コロナウイルス感染拡大による中止46件、開催延期16件、辞退1件

(2) 新しいMICE誘致推進事業

24,555,802円

コロナ禍でのMICE開催を促進するため、新型コロナウイルス感染症に対応したMICE支援策を新たに設け、主催者の負担軽減と参加者の消費促進を図り、MICE開催の回復と地域経済の活性化に努めた。

<コンベンション開催補助金の拡充>

助成単価および限度額を引き上げ交付

- ・交付件数：8件
- ・交付額：3,323,000円
- ・参加者数：4,790人（うち県外4,145人）

<コンベンションおもてなし助成金>

助成率および限度額を引き上げ交付

- ・交付件数：1件
- ・交付額：209,075円

<コンベンション参加者消費活性化助成>

県外からの参加者に対し、市内の商店等で利用できる2千円分のMICE歓迎商品券を配布

- ・交付件数：12件
- ・交付枚数：3,404枚（利用率72%）

<コンベンション参加者リピーター助成>

市内で開催されたコンベンション等への県外参加者が、再度新潟市を訪れた際の宿泊優待の実施

- ・実施件数：8件
- ・優待チラシ配布数：2,285枚
- ・優待利用数：15人

<感染症対策支援>

コンベンション開催時の感染症予防対策に生じた費用の助成、およびAIサーマルカメラ等の予防機器の貸出

助成金

- ・交付件数：8件
- ・交付額：3,084,479円

物品貸出

- ・ A I サーマルカメラ：7件
- ・ デジタルサイネージ：4件
- ・ 非接触型温度計：6件

<コンベンション誘致報奨金>

- コンベンションを誘致した旅行会社への報奨金の支給
- ・ 支給件数：0件

(3) コンベンション開催準備資金貸付事業(Ⅱコンベンション事業に含まず) **0円**

新潟市で開催されるコンベンションの主催者に対し、その円滑な運営と成功に寄与するための、開催準備に要する資金の貸付であるが新規の貸付はなかった。

(4) コンベンション開催助成事業 **218,150円**

コンベンション開催時の伝統芸能アトラクションに対する助成及び、新潟市内のエキスカーションにおいて貸切バス・貸切タクシー・水上バスを利用する場合に助成を行い、伝統芸能のPRと活用、市内観光の促進を図った。

- ・ おもてなし助成金交付：1団体（伝統芸能 1件、エキスカーション 1件）

(5) コンベンション開催支援事業 **376,982円**

新潟市で開催されるコンベンションの主催者に対し、開催に必要な助言・サポート、及びコンgresバッグなどの提供を行い開催を支援した。

また、県外からの参加者が200人以上のコンベンションに対し、新潟駅、新潟空港に歓迎看板を掲示するとともに、開催会場に「にいがた観光親善大使」を派遣し、歓迎挨拶や観光PRなどを行い参加者に対する歓迎機運の醸成を図った。

- ・ 歓迎看板設置件数：9件／にいがた観光親善大使派遣件数：3件

(6) その他 **823,230円**

<コンベンション開催予定表配付>

令和2年4月以降、及び令和2年10月以降に開催予定のコンベンションの予定表を年2回（4月・10月）作成し、賛助会員及び関係者に提供した。

1 理事会

第1回通常理事会（決算）

- ・期 日：令和2年6月4日（木）

- ・会 場：ホテルイタリア軒

第2回通常理事会（予算）

- ・期 日：令和3年3月19日（金）

- ・会 場：新潟グランドホテル

臨時理事会（補正予算）

- ・期 日：令和2年11月2日（月）

※書面によるみなし決議

2 評議員会

第1回評議員会（決算）

- ・期 日：令和2年6月19日（金）

- ・会 場：ホテルイタリア軒

第2回評議員会（予算）

- ・期 日：令和3年3月26日（金）

- ・会 場：新潟東映ホテル

3 各団体加入負担

社団法人新潟県観光協会及び大都市観光協会連絡協議会、新潟県国際観光テーマ地区推進協議会などに加入し、引き続き情報収集を行うとともに、連携して対外宣伝と誘客に努めた。

4 事務局管理費

公益財団法人会計を適正に執行するため、引き続き税理士法人さくら総合会計と予算の執行管理、及び予算・決算等の資料作成にかかる業務契約を締結した。

5 新規加入賛助会員 当初会員数 〈団体会員〉 290社

新規入会

〈団体会員〉 4社

- ・ 合同会社アレコレ

- ・ 株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ

- ・ 株式会社MICEブレイン

- ・ 和同情報システム株式会社新潟支店

退 会

〈団体会員〉 9社

期末会員数

〈団体会員〉 285社